

創価大学

入試問題傾向と対策講座

【 英語 】

－ 大学入学共通テスト編 －

河合塾 英語科:宇佐美 喜一

2021年度 大学入学共通テスト 英語の傾向と対策

河合塾 英語科講師 宇佐美喜一

1 概要

2021年度から「大学入試センター試験」から「大学入学共通テスト」への名称の変更にもとない英語の配点はリスニング問題100点、リーディング問題100点の合計200点満点となり、今までよりリスニングが重視されることになった。

★センター試験では発音・アクセント問題、文法・語法問題、リーディング問題が出題されていたが、「大学入学共通テスト」ではリーディング問題だけの出題となった。

2 傾向と対策

(1) リスニング問題

リスニング問題は第6問まであり、第1問と第2問は読み上げ回数が「2回」、第4問から第6問までは読み上げ回数が「1回」となっておりマークする回答数は37個である。昨年のセンター試験は試験時間が30分で読み上げる総語数が1,142語であったのに対し、今回の共通テストでは試験時間は同じく30分であるが総語数は1,528語に増加した。読み取った情報を整理する力に加え、図表やワークシートなどを正しく読み取り、聴き取った情報と重ね合わせて判断する力が求められている。難易度はセンター試験と比較してほぼ同じである。

ちなみに、第5問が連続して読まれる英文量が1番多かったが、2分半ほどで300ワード程度の英文が読まれ、それに対して解答することが要求された。

対策としては表やグラフなどの資料が含まれる実戦的な問題を活用して、資料や選択肢を素早く読み取り、テーマや話の展開を予測しながら聴き取る練習をしよう。模擬試験を多く受験するなどして、実戦的な問題にできる限り多く取り組んで形式に慣れておくことが重要である。

対策

リスニング力はすぐに身につくものではない。短時間でも良いので日々の努力が大事である。教科書を音声で聴いたり、音読やシャドーイングなどをしてリスニング力を強化する必要がある。

(2) リーディング問題

発音・アクセント問題、文法問題があったセンター試験とは異なり、すべて読解問題になったため、読むべき問題、設問、表や図、選択肢などを含めれば英文量は5,500ワード程度となり、センター試験より約1,000ワード増加した。英文の難易度はセンター試験と同レベルであるが、読むべき英文の総語数の大幅増加によってますます、正確に速く読むことが要求されている。

第1問

A 寮のルームメイトの **Julie** から「歴史の宿題を **USB** に入れて大学の図書館でプリントアウトをするつもりだったが、**USB** を寮に忘れてきたから持ってきてほしい」と頼む携帯メールが送られてきた後、「探したが **USB** が見つからない」と返信すると、「カバンの中にあった」と返信があったので安心したという内容のやり取りを読んで、2つの問いに答える問題。問2は「安心した相手にどういう返信をするか」という推測力を問う新しい傾向の問題。

B 「自分の好きなミュージシャンが日本でコンサートツアーを行うことになっていて、ファンクラブへの入会を考えている人が、公式のウェブサイトを見ている」という状況設定。入会の手続きや会員特典に関する情報を読み取って答える問題。本文及び表には会員の種類、特典、会費などさまざまな数値に関する情報が入っていて、問1と問3の選択肢がすべて数値情報に関連している。

第2問

A イギリスの学園祭で催されたバンドコンテストで演奏した3つのバンドについての審査員3人のコメントが記されている。歌唱力やオリジナリティーなどの項目についての審査員の点数を記した別の表も参照して、審査員の批評の内容や、最終的な順位を推測して答える問題。

B 英国で学ぶ交換留学生が、校長が出した「下校時間を早める」という学校の新方針に対して、オンライン上の掲示板に載せた新方針に対する反対意見と、新方針の真意を述べた校長の意見を読むという設定。

「新方針に反対することの助けになるには、何を調べればよいか」という設問があるが、問題文にある記述から校長の真意を理解し、推測して選択肢より答えるという新傾向の問題が出題された。

第3問

A 英国のある特定のホテルに宿泊する計画を立てている人の「そのホテルがお薦めかどうか、空港からのアクセスが良いかどうか」という質問に対しての助言を掲載しているウェブサイトのO&Aの欄を読み、問いに答える問題。

空港からホテルまでのアクセスとして空港バス、地下鉄、都市バス、そして徒歩を組み合わせたいいくつかの方法が図で示されている。空港バスの出発時間や各交通手段別の所要時間についての情報も示されている。搭乗する飛行機の空港への到着時間を考慮し、どの組み合わせがホテルまで最も短時間でいけるのかを選ぶ問題が問2となっている。図の情報からすぐに答えを出せそうに見えるが、本文の内容を正確に読まないと正解が出せない問題である。

B 学校のニュースレターに掲載された、クラスメートである英国からの交換留学生が書いた「ボランティア募集」の記事を読んで問いに答える問題。

問1はそこに記述されている出来事が起きた順番を問う問題。また、記事に書かれている内容から、どのような行動を取ったら良いのかを推測する問題もある。

第4問

英語の教師のEmmaは生徒二人に姉妹校から訪問する学生をもてなすスケジュール作成の手伝いをするを依頼する。Emmaと生徒のメールのやり取りを読み、添付された列車の時刻表と水族館の混雑度を示すグラフを参照して各設問に解答する。問2はスケジュールをどう組むかを判断して答える問題であるが、本文を読みグラフや表にある複数の情報を合わせて判断する必要がある。

第5問

「20年間飼っていた馬を亡くした女性が寂しさから農場で働きだしたが、ある事情からその農場の1頭の子牛とその母牛を買い取った。その後ポニーも1頭買い取ることになる。そして子牛に馬がするような芸を教え込み、ヨーロッパのあちこちで催される縁日で芸を披露した」というニュース記事を読んで、プレゼンテーション用のスライドにまとめる問題。

問1はプレゼンテーションのタイトルとして最も適切なものを選択する問題。

問2では登場する人や動物を主役と脇役の2つのグループに分けるという問題であった。

問3は記述された出来事を起こった順番に並べる問題であるが、空所は4つであるが不要な選択肢が1つ含まれているために5つの選択肢から4つを時系列順に並べる必要がある。同様に出来事の時系列を判断する問題が第3問のBの問1にも出題されている。

第6問

A「アイスホッケーにおける安全対策」に関する記事を読み、ポスターの空所部分に適切な表示を選択する問題。

ポスターを見ながら解答するのに必要な情報を探して本文を読めば比較的素直に答えを見つけやすい。

B「砂糖の代替甘味料」に関する文章を読んで、4つの問いに答える問題。

砂糖に代わる様々な甘味料について甘さやの度合いや、人体に与える健康上の問題などが述べられている。特に難しいという問題ではないが、馴染みのない甘味料の名称が英語で表記されているので、それぞれの甘味料の特徴を確認しながら英文を読み進めていく必要がある。

対策

(1) 語彙力をつけよう！

★市販の単語集などを利用して単語、熟語の知識を確実に身につけよう。

★単語を覚えるときの基本は反復である。

一語一語に時間をかけて丁寧に覚えるというよりは、毎日80語から100語程度を目標にして単語集を何回も繰り返すことが大事である。

★具体的には、例えば最初の一周目は単語の意味と派生語にチェックを入れる。二週目は例文を活用して文意の中でチェックする。三週目は単語を音読する、四周目は例文全体を音読するなどである。CDなどの音源がある場合はそれを活用し、自分でも聴いている音声の真似をすればリスニングの対策にもなる。

学校への往復の交通機関の中や、学校の昼休みの中の10分、寝る前の10分などのいわゆる“スキマの時間”をうまく活用することが大事である。

(2) 基本的な文法・語法を習得しよう！

★英文を読む土台は語彙力以外に標準的な文法・語法の知識が不可欠である。学校の定期テストなどで出題される標準的な文法の知識をマスターしておこう。

(3) 速読の練習をしよう！

★まずは毎分120ワード程度を読めるようにしよう。

★英文を頭から読みながら、書かれている内容を把握することができることが大事である。

★最初は主語と動詞に注目し、語句のかたまり[句・節]を役割ごとにスラッシュなどで分割して意味を取る練習をしよう。

(4) 過去問を解いてみよう！

★今年度は入試の傾向が完全に変わったが、来年度も同様の出題傾向だと思われるので類似する問題として過去のセンター試験の第4問のB、第5問のそれぞれ本試験および追試験の問題を利用すれば相当な問題数を練習することができる。

★最初の一回目は時間制限を無視して、気になる単語は辞書を引いて解いてみよう。
その結果によって現在の自分に不足しているものが語彙力なのか、読解力なのか、速読の練習をもっと必要であるなどが判断できる。
現在の自分の弱点を理解して、入試までにおこなうべき今後の対策が分かるはずである。

基礎力診断チェック

1 次の空所に入れるのに最も適切なものをア～エから選べ。

1. Tom helped me () the boxes out.

ア. carry イ. carried ウ. carries エ. carrying

2. The storm () when we got up in the morning.

ア. goes イ. is going ウ. has gone エ. had gone

3. It provides valuable opportunities () Japanese and foreign residents to get to know each other.

ア. on イ. with ウ. to エ. for

4. We had no choice () to start the plan.

ア. but イ. and ウ. for オ. despite

5. One fact from his comment is () you need to study English much harder.

ア. what イ. which ウ. that エ. whom